

「日本語教育通信」は、海外の日本語教師を主な対象として、教材情報、授業のアイデア、日本事情や内外日本語教育情報等を提供するニュースレターです。2009年5月より、印刷物としての発行にかわり、ウェブサイトで公開しています。毎月末頃に、いずれかのコーナーの記事が更新されます。どうぞお役立てください！

目次



日本語教育ニュース

第20回

2014年5月、2014年6月

「みんなのCan-do サイト」に “まるごと Can-do” が追加されました！

第21回

オンライン日本語講座「にほんごにゆうもん」が開講しました！



授業のヒント

2014年8月

インタビュー活動を通じて日本理解を深め、日本語を学ぶ



文法を楽しく

2014年7月、2014年9月

「受身文」

「授受表現」(1)



本ばこ

2014年5月～2014年9月

『まねして上達！ にほんご音読トレーニング』

『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』

『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2 <かつどう><りかい>』

『翻訳がつくる日本語 ヒロインは「女ことば」を話し続ける』

『日本語学と通言語的研究との対話 - テンス・アスペクト・ムード研究を通して -』

On the Web

以下の記事はウェブサイトのみにてご覧になれます。



海外日本語教育レポート

2014年4月

第29回

アーティキュレーションを目指すための J-GAP 台湾のワーキンググループ

— 現場の知見を共有することから —

J-GAP 台湾委員会

陳淑娟 (東呉大学)

『日本語教育通信』

編集：独立行政法人国際交流基金

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36 国際交流基金日本語国際センター

TEL: +81-48-834-1183 FAX: +81-48-831-7846

E-mail: jfnckt@jpf.go.jp

印刷して保存するときにこの表紙をお使いください。



日本語教育ニュース

にほんご きょういく

「みんなの Can-do サイト」に“まるごと Can-do”が追加されました！

日本語国際センター 専任講師 長坂水晶
 教材開発チーム 横田亜朱紗

「みんなの Can-do サイト」(<http://jfstandard.jp/cando/>)は今年でオープンから4年目を迎えます。これまで、493のCEFR^{*1} Can-doと、国際交流基金が作成した342のJF Can-doをデータベース化して公開してきました。今回、2014年3月付で、新しいJF Can-doである“JFまるごと Can-do”（以下“まるごと Can-do”）が追加されました。今回は“まるごと Can-do”とその活用方法をご紹介します。

●“まるごと Can-do”とは

“まるごと Can-do”はJF日本語教育スタンダード準拠コースブック『まるごと 日本のことばと文化』^{*2}（以下『まるごと』）で使われているJF Can-doです。2014年3月には、2013年9月に出版された『まるごと 日本のことばと文化 入門A1かつどう』（以下、『まるごと 入門A1』）に対応した、56の“まるごと Can-do”を「みんなの Can-do サイト」に追加しました。

●“まるごと Can-do”と『まるごと』の実例

“まるごと Can-do”は、『まるごと』の各課の学習目標^{*3}に対応しています。『まるごと』を見れば、“まるごと Can-do”に書かれた言語活動が、どのような場面でどのような相手と、どのようなやりとりをするのか、そこで使われる表現がどのようなものなのか、具体的にわかります。『まるごと 入門A1』第12課を例にとって見てみましょう。

“まるごと Can-do”は、これまでのJF Can-doと同じく、やりとりの場面・相手、内容がわかるように具体的に書かれています。

『まるごと』では各課の学習目標を“もくひょう Can-do”として示しています。学習者に分かるような簡単な文で書かれていて、番号が付いています（表内の数字）。

『まるごと 入門A1』	
番号	“もくひょう Can-do”
Can-do 30	イベントのポスターやカレンダーをよみます
Can-do 31	イベントに行くかどうかいいいます

次に、これらのCan-doが『まるごと 入門A1』でどのように具体化されているか見てみましょう。



図1: 『まるごと 入門A1』第12課 P78-P79



図2: 『まるごと 入門A1』第12課 Can-do30の活動例

● “まるごと Can-do” を使ってできること

“まるごと Can-do” を授業の目標に設定した場合には、次のようなことができます。

1) レベルに合った素材についての情報が得られる

“まるごと Can-do” を目標とした授業では、どの程度のやりとりができれば良いかや、どのような素材がそのレベルに合っているのかを『まるごと』を参考にすることが出来ます。例えば“まるごと Can-do”《地域で有名な祭りなど、催し物のポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる》はA1レベルの「受容」つまり読む活動を表しています。この活動は『まるごと 入門A1』第12課 (図2) で扱われています。教師は、『まるごと 入門A1』を見ることで、A1で想定されるレベルイメージや、具体的な素材・言語項目の例を得ることが出来ます。

2) 『まるごと』を参考に、教室活動を考えることができる

“まるごと Can-do”《イベントのポスターを見ながら、イベントに行くかどうか、友人に短い簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる》は、実際の場面ではどのような談話になるのでしょうか。『まるごと 入門A1』の第12課では、“もくひょう Can-do” 31の活動として談話例が示されています (図3)。教師は、この談話例とその直前の“もくひょう Can-do” 30の活動 (図2) を参考に、適当なポスターを用意し、そのポスターを見ながら学習者同士がやりとりするような教室活動を組み立てることができます。

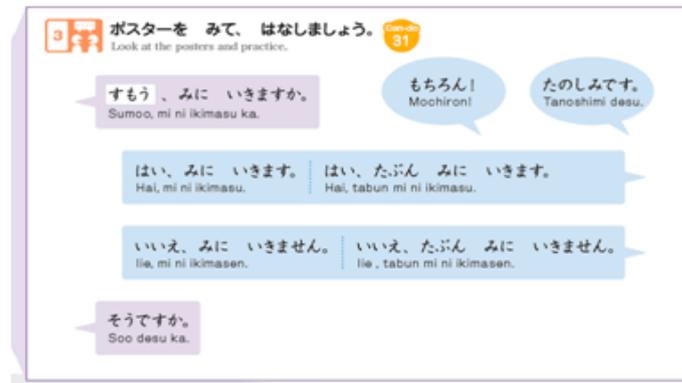


図3: 『まるごと 入門A1』 第12課 Can-do31の活動例

3) 学習目標の確認や評価に利用できる

“まるごと Can-do” は学習目標を確認したり、学習の成果を評価したりするために使うことができます。例えば『まるごと 入門A1』 第12課の“もくひょう Can-do” 30 (図2) は「地域のポスターやカレンダーをよみます」となっています。対応する“まるごと Can-do” 「地域で有名な祭りなど、催し物のポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる」を必要に応じてやさしく書きかえたり、翻訳したりしてチェックリストを作成すれば、学習者自身が自己評価するために使うことができます。

Can-do	◎よくできる ○できる △あまりできない ×ぜんぜんできない	
	授業の前	授業の後
地域で有名な祭りなど、催し物のポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。		
イベントのポスターを見ながら、イベントに行くかどうか、友人に短い簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができる。		

“まるごと Can-do” を使った自己評価表の例

●検索ページの新たな機能を利用して Can-do を活用しよう!

“まるごと Can-do” は「みんなの Can-do サイト」の検索ページで「JFまるごと」にチェックを入れると検索することができます。また、今回の Can-do の追加に伴って、「JFすべて」ボタンが検索ページに付きました。



「みんなの Can-do サイト」の新しくなった検索ページ

このボタンをクリックすると、JFCan-doと“まるごとCan-do”両方に自動的にチェックが付きます。サイトにあるすべてのJFCan-doを検索対象に含むことができ、これまでより更に多くのCan-doを見ることができるようになりました。

選択	種別	レベル	種類	言語活動	カテゴリ	第一トピック
Can-do本文						
<input type="checkbox"/>	JF まるごと	A1	活動	やりとり	情報交換する	自分と家族
						机に入った同僚やクラスメートなどに、何語が話せるかたずねたり、答えたりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF まるごと	A1	活動	やりとり	情報交換する	住まいと住環境
						友人の家に、トイレがどこかたずねたり、答えたりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF まるごと	A1	活動	やりとり	情報交換する	自由時間と娯楽
						イベントのポスターを見ながら、イベントに行くかどうか、友人に短い簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF まるごと	A1	活動	やりとり	情報交換する	生活と人生
						人と会う日を決めるときに、次週のスケジュールを短い簡単な言葉で教え合ったりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF まるごと	A1	活動	やりとり	情報交換する	生活と人生
						人と食事会などの日程を決めるときに、いつか、どこか簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF	A1	活動	やりとり	情報交換する	自分と家族
						役所などで、本人確認のために生年月日たずねられて、答えることができます。
<input type="checkbox"/>	JF	A1	活動	やりとり	情報交換する	住まいと住環境
						住んでいる地域やマンションのゴミ収集所で、近所の人に質問を尋ねながら、何曜日に出ることができるかたずね、ゆっぴりばつぎと質問が返されれば、答えを理解することができます。
<input type="checkbox"/>	JF	A1	活動	やりとり	情報交換する	住まいと住環境
						家の中で、ホストファミリーや同居人などが今どこにいるか、他の人にとずねたり、答えたりすることができます。
<input type="checkbox"/>	JF	A1	活動	やりとり	情報交換する	自由時間と娯楽
						スーパーマーケットなどで、春に品物の値段を聞かれて、答えることができます。
<input type="checkbox"/>	JF	A1	活動	やりとり	情報交換する	自由時間と娯楽
						週末朝かどうか友人にとずねたり、答えたりすることができます。

“まるごとCan-do”を含む検索結果ページ

● “まるごとCan-do”が教科書のどこに使われているか検索してみよう！

「みんなのCan-doサイト」では、Can-doについての詳しい情報を、各Can-doの詳細画面で見ることができます。

“まるごとCan-do”の、詳細ページのTips欄には『まるごと』『もくひょうCan-do』の番号が載っています(下の図の部分)。

この番号を頼りに、教科書に具体化されている活動例を探することができます。

レベル **A1**

分類 **活動 やりとり** 情報交換する

トピック **自由時間と娯楽**

イベントのポスターを見ながら、イベントに行くかどうか、友人に短い簡単な言葉でたずねたり、答えたりすることができます。

レベル **A1**

種別: JF まるごと

登録フォルダ数: 7

Tips『まるごと入門 A1 かどう編』Can-do31

“まるごとCan-do”詳細ページ

31 ポスターをみて、はなしましよ

Look at the posters and practice.

すもう、みに いきますか。 Mochiron! たのしみです。

Sumou, mi ni ikimasu ka. Mochiron! Tanoshimi desu.

はい、みに いきます。 はい、たぶん みに いきます。

Hai, mi ni ikimasu. Hai, tabun mi ni ikimasu.

いいえ、みに いきません。 いいえ、たぶん みに いきません。

Iie, mi ni ikimasen. Iie, tabun mi ni ikimasen.

そうですか。 Soo desu ka.

● 今後も追加予定！新しいCan-doに注目！

「みんなのCan-doサイト」では、今後も新しいCan-doを追加していきます。2014年6月に刊行予定の『まるごと 日本のことばと文化』初級1(A2)に合わせた“まるごとCan-do”など様々な新しいJFCan-doを作成して順次公開していきます。今後も「みんなのCan-doサイト」と『まるごと』をご活用ください！

各種お問い合わせは下記の宛先からお願いします。

“まるごとCan-do”や「みんなのCan-doサイト」について：<https://jfstandard.jp/cando/inquiry/input/ja/render.do>

『まるごと 日本のことばと文化』について：marugoto@jpf.go.jp

<関連サイト>

「JF日本語教育スタンダード」 <http://jfstandard.jp/>

『まるごと 日本のことばと文化』公式ポータルページ <http://marugoto.org/>

-
- ※1 CEFRとは「Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment」の略称。
 - ※2 『まるごと 日本のことばと文化』についての詳細は、2013年9月30日掲載の「日本語教育ニュース」(<http://www.jpf.go.jp/japanese/survey/tsushin/news/201309.html>)をご覧ください。
 - ※3 『まるごと』の学習目標“もくひょうCan-do”は『まるごと』の内容一覧に挙がっています。内容一覧は「JF日本語教育スタンダードサイト」のまるごとページ (<http://jfstandard.jp/language/ja/render.do>) からダウンロードできます。

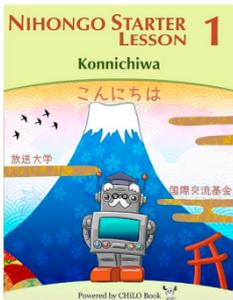


日本語教育ニュース

にほんご きょういく

オンライン日本語講座「にほんごにゆうもん」が開講しました！

日本語国際センター 専任講師 篠原亜紀



2014年4月、オンライン日本語講座「にほんごにゆうもん (NIHONGO STARTER)」がJMOOCの講座としてスタートしました。これは、国際交流基金日本語国際センター教材開発チームが放送大学と共同で制作したeラーニング教材^{※1}で、インターネットを通じてだけでも無料で受講することができます。

● 「にほんごにゆうもん」のしくみ

JMOOCは、MOOC (Massive Open Online Courses) と呼ばれる大規模公開オンライン講座の日本版です。「にほんごにゆうもん」はその一つで、放送大学による「OUJ MOOC」(Facebookを利用)で配信されています。

教材は電子ブック型で、自分のパソコンやタブレットにダウンロードして学習します。インターネットに接続していれば、電子ブックの中にあるビデオを見たり、練習問題をしたることができます。Facebookには学習コミュニティがあり、ほかの学習者と交流することができます。コースを修了すると、修了認定バッジがもらえます。



● 「にほんごにゆうもん」の特徴

「にほんごにゆうもん」のレベルは、「JF日本語教育スタンダード」^{※2}のA1レベルで、日本語を初めて学習する人のためのコースです。説明などは英語で書かれていますから、日本語がまったくわからない人でも、英語がわかれば学習できます。

「にほんごにゆうもん」は、日本の大学へ留学を予定している人を主に対象としていますが、話題は一般的なもので、だれでも学習できます。

● 「にほんごにゆうもん」の構成とコンテンツ

コースは、Lesson1～Lesson10の全10回です^{※3}。1つのLessonは45分ぐらいで学習できます。各Lessonの目標は「あいさつをします」のよなCan-do^{※4}(表1参照)で書かれています。

「にほんごにゆうもん」では、ドラマ仕立てのスキットを中心に学習を進めます。「ロボじい」というロボットがナビゲーターとして登場し、学習の手助けをしてくれます。

各Lessonには、< Skit > < Explanation > < Exercise > < Can-do Practice > < Can-do Challenge > < Can-do Check > < Learn More >のコーナーがあります。



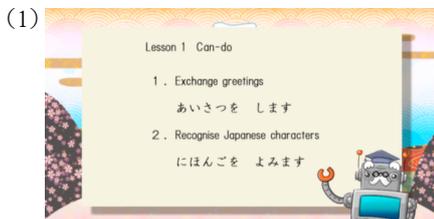
表1 各LessonのタイトルとCan-do

Lesson	タイトル	Can-do
1	こんにちは	①あいさつを します ②にほんごを よみます
2	もういちど おねがいします	①けんきゅうしつで はなします ②なまえと くのを かきます
3	どうぞ よろしく	①じぶんの ことを かんたんに はなします ②めいしを よみます
4	かぞくは 3にんです	①かぞくの ことを かんたんに はなします ②かぞくの しゃしんを みて はなします
5	なにが すきですか	①すきな たべものが なにか はなします ②あさごはんの しゅうかんについて はなします
6	どこで たべますか	①ひるごはんを どこで いっしょに たべるか ともだちと はなします ②メニューを よみます ③しょくどうで かんたんな ちゅうもんを します
7	へやが 4つ あります	①どんな いえに すんで いるか いいます ②いえに なにか あるか いいます ③ともだちを いえに しょうたいする Eメールを かきます
8	いい へやですね	①ものを へやの どこに おくか ききます/いいます ②いえを ほうもんします/いえに ともだちを むかえます
9	なんじに おきますか	①なにかを する じかんを いいます ②いちにちの せいかつを はなします
10	いつが いいですか	①パーティーを いつに するか はなします ②バースデーカードを かきます

<Skit>

まず、ロボじいがCan-doを説明し(1)、学習する前にいくつか質問をします。それから、約3分のスキットを見ます(2)。スキットの字幕は、英語、ローマ字、かなから選ぶことができます。字幕なしで見することもできます。スキットの主人公は、ブラジルからの留学生「ジョゼ」です。ジョゼは、ロボットを開発するために日本の大学院に留学しています。スキットでは、ジョゼが研究室の友だちや教授との大学生活を通して日本語を学びます。

スキットを見た後、スキットの中のCan-doに關係する部分を再生できるページがあります(3)。それを見て、Can-doを達成するためにどのような表現が使われていたか、確認します。



< Explanation >

スキットで使われていた主な表現や文法をロボじいが解説します。Can-doを達成するために使う表現・文法が中心です。動画や音声を使って、英語でわかりやすく解説します。



< Exercise >

ここでは、Explanationで学習した表現や文法が理解できたかどうか、練習問題で確認します。絵や音声がたくさん使われているので、楽しく学習できます。練習問題はインターネットに接続して行います。自分のアカウントには学習の記録が残ります。練習問題に取り組んだ日時、かかった時間、正解した問題などをいつでも確認することができます。75%以上正解すれば合格です。



< Can-do Practice >

Can-doを達成するための練習をするコーナーです。スキットを見て、**Speak!**の文字が出たら、登場人物と一緒に話します。ここでは字幕も出ます。



< Can-do Challenge >

Can-do Practiceで練習したあと、今度は自分一人でCan-doが達成できるかどうか(例: あいさつができるかどうか)を試みます。**Your turn!**の文字が出たら、何を言ったらよいか、自分で考えて話します。自分一人できたら、Can-do達成です。



< Can-do Check >

Can-do Challengeが終わったら、Can-doチェックをします。Can-doが「できた」かどうか、自己評価をします。評価は3段階で、「★:しました」「★★:できました」「★★★:よくできました」です。★が2つ以上で合格です。コメント欄には気付いたことや感想などを書きます。



< Learn More >

もっと詳しく勉強したい人のためのコーナーです。コラム Language and Culture や、スキットのスクリプト（英語・ローマ字・かな）、ひらがな表などの参考資料があります。



● コース修了

すべてのLessonを修了すると、修了認定バッジがもらえます。修了に必要なのは、各Lessonの<Exercise>で75%以上正解すること、<Can-do Check>で★2つ以上チェックすることです。



● 学習コミュニティ

Facebookには、学習コミュニティページ（受講生のグループ）があります。わからないことを質問したり、コメントを書き込んだりすることができます。世界中の日本語学習者と友だちになれるかもしれません。

● 受講方法

受講登録の方法や開講時期についてはFacebookページ（<https://www.facebook.com/nihongostarter/>）を見てください。次回は8/4-9/7の期間で開講される予定です。



Facebookには、学習コミュニティのほか、「にほんごにゆうもん」を授業などで活用したい教師のためのページ（<https://www.facebook.com/groups/Nihongostarterconnoisseur/>）もあります。こちらもぜひご覧ください。

< 関連サイト >

JMOOC <http://www.jmooc.jp/>

OIJ MOOC <https://www.facebook.com/oijmooc/>

NIHONGO STARTER <https://www.facebook.com/nihongostarter/>

「JF日本語教育スタンダード」 <http://jfstandard.jp/>

- ※1 教材の企画と執筆は、日本語国際センター専任講師（篠原亜紀、羽吹幸、築島史恵）が担当しました。
- ※2 JF日本語教育スタンダードは、国際交流基金が開発した、日本語の教え方、学び方、学習成果の評価のし方を考えるためのツールです。レベルはCEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ参照枠）に準じています。
- ※3 シラバスは『まるごと 日本のことばと文化』（入門 A1 かつどう）の第1課から第10課を参考にしています。
- ※4 日本語で何がどのくらいできるかについて「～できる」という形で書かれた文です。「にほんごにゆうもん」では、文を簡単にするため、「～します」という表現を使っています。



授業のヒント

じゆ ぎよう

テーマ

インタビュー活動を通じて

日本理解を深め、日本語を学ぶ

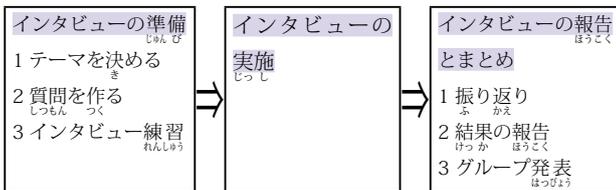
目的 もくてき
インタビュー活動を通じて日本理解を深める インタビュー活動を通じて日本理解を深める
学習者のレベル がくしゅうしゃ
初級後半～中上級 しよきゆうこう ちゅうじゅうきゅう
クラスの人数 にんずう
6人～10人 にん にん

学習者の多くは、日本や日本文化に興味を持ちつつも、日本人の考え方や行動様式に対して不思議に思ったり疑問に感じたりしていることがあるようです。また、日本人と接する機会が少ない場合、ステレオタイプの捉え方をしてしまう学習者もいるでしょう。このような学習者が実際の日本を知り、日本をより深く理解できるように、インタビュー活動を授業に取り入れてみてはどうでしょうか。日本人と直接会って話を聞くことによって多様性や個性に気づき、日本や日本人についての理解をより深めることができるでしょう。また、インタビューテーマについて深く質問するために必要な表現を学習することで、より自然なコミュニケーション能力を身につけることにもつながるでしょう。

今回は、このような目的のために行うインタビュー活動の授業の流れと指導のポイントをご紹介します。

◆授業の流れ

この活動は、次のような流れで行います。



◆インタビューの準備

1. テーマを決める

3,4人でグループを作り、インタビューのテーマを1つ考えます。

学習者が日本・日本人に対して感じている疑問などを挙げさせながら、日本人に直接聞きたいテーマが何か考えさせるといいでしょう。テーマを選ぶ際には、テーマが広すぎず具体的なものとなるよう、注意を促します。

2. 質問を作る

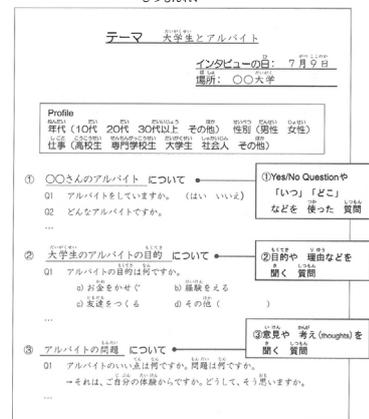
まず、インタビューで聞きたいことを書き出し、その後、質問を絞り込み、質問の順番も決めていきます。

この際に大切なのは、インタビューを受ける人が答えやすい順番で組み立てられているかということです。「はい」「いいえ」で

答えられる事実や経験などを問う簡単な質問から、理由や意見などを問う複雑で抽象的な質問へと徐々に内容が深まっていく流れになるようにする必要があります。

また、1つのテーマについて深く聞くためには、トピックが多くなりすぎないようにすることも大切です。さらに、ネットや本で調べたらわかるようなことは質問しないよう注意を促すことも重要です。

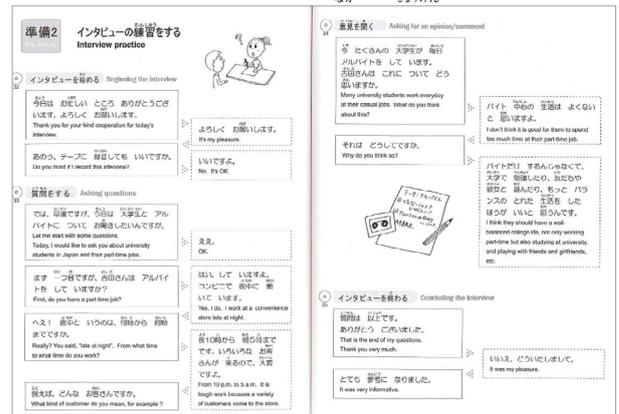
<質問例>



3. インタビュー練習

質問ができれば、インタビューの流れ（始めの挨拶、テーマの説明、質問、終わりの挨拶）とインタビューに役立つ表現を確認し、練習をします。

<インタビューの流れと表現>



またテーマについて詳しく聞いたりインタビューをスムーズに続けたりするのに役立つ表現なども確認します。インタビュー本番前にできれば同じ学習機関の日本人などに協力してもらい、実践練習を行うといいでしょう。可能な場合は動画撮影をし、録画を見ながら質問や話し方のチェックをします。実際に質問してみ初めて気づくこともあるので、事前の実践練習は非常に大切です。意図が伝わりにくい質問などがあれば表現を修正したり変えたりして、質問の練り直しを行います。

＜インタビューに役立つ表現＞

- 1) 詳しく聞く
 - ・それは〔どうして/いつ/どこ〕ですか。
 - ・例えば（どういうことですか）？
- 2) 意見を聞く
 - ・～について、どう思われますか。
 - ・私は～と思うのですが、どうでしょうか。
- 3) 答えがわからないとき
 - ・すみません、もう少しゆっくりお願いします。
 - ・すみません、ちょっとわからなかったので、もう一度説明していただけませんか。
- 4) 確認する
 - :(つまり)それは、～ということですか。
- 5) 話題を変える
 - :話は変わりますが、…
- 6) 話題をもどす
 - :話はもどりますが、…
- 7) 聞きにくい質問
 - :さしつかえなければ、お聞きしたいんですが…
- 8) あいづち
 - :ええ/はあ、へえ、そうですね、そうですねなるほど、本当ですか

◆インタビューの実施

インタビューを受ける人が各グループに2名程度いる場合、テーマや内容にもよりますが、インタビューに20～30分かかります。より多くの人にインタビューできるように、グループ交代は数回行うといいでしょう。

インタビュー中はグループで協力しながらメモをとることを勧めますが、小型のテープレコーダーなどで録音しておく、後で確認ができるので安心です。

◆インタビューの報告とまとめ

1. インタビューの振り返り

インタビュー後の授業ではセルフチェックシートを使って、自身のインタビューの仕方や聞く態度について振り返ったり、クラスで話し合ったりして、インタビュー活動がうまくいったかどうか確認します。

＜セルフチェックシートの例＞

	うまく できた	こと・できなかった	ことどう したら いい？
はじめ	<input type="checkbox"/> 相手の 目を 見て (eye contact) あいさつを する	<input type="checkbox"/> 笑顔 (smile) が ある・リラックス (relax) して いる	<input type="checkbox"/> 緊張 (緊張) している (nervous)
Q&A	<input type="checkbox"/> 日本語を 滑らかに (fluently) 話す。	<input type="checkbox"/> 相手の 目を 見て 話したり 聞いたりする eye contact	<input type="checkbox"/> 聞きながら、表情や ジェスチャーで 反応する respond with facial expressions and gestures "non-verbal"
	<input type="checkbox"/> あいづちを うつ	respond supportively "verbal"	
	<input type="checkbox"/> 日本語が わからない とき、もう 一度 聞く		
	<input type="checkbox"/> 相手の 答えを 聞いて、もっと ぐわしく 聞く		
おわり	<input type="checkbox"/> 知りだかた ことが 全部 わかる		
	<input type="checkbox"/> 答えにくい 質問が ない		
	<input type="checkbox"/> 的外れな (irrelevant, out of focus) 質問が ない		
	<input type="checkbox"/> 質問の 流れ (flow) が スムーズ (smooth) だ		
おわり	<input type="checkbox"/> お礼を 言う (express thanks to the interviewee)		
	<input type="checkbox"/> いい 雰囲気 (atmosphere) で 終わる		

2. インタビュー結果の報告と話し合い

インタビュー結果の報告は、インタビューでわかったことや、自分たちの国との比較・分析を通して気づいたことなどをグループごとに発表します。

このインタビューは大規模調査ではないため、数値化してまとめるのではなく、各質問についての結果の紹介と、おもしろいと思った答えや印象的だった答えとその理由、まだわからないことなどを話してもらいます。発表を聞いた他のグループには質問やコメントを促します。

教師はここでテーマに関する理解が深まるよう、インタビュー結果から見える日本人の価値観や考え方、日本社会の現状などについて気づきを促す質問やコメントをします。例えば、「日本人の相手への配慮」というテーマで調べているグループが「家族が作ってくれた料理がおいしくない場合、どう言いますか」と質問した際に、「いつもと何か違うみたいだけど、味付け変えた？」などと遠回しの言い方をすると聞き、それをおもしろいと感じたと報告しました。このような場合に教師は学習者の国ではどうな

y.shiraishi+test444_206@kaiyukan.jp

るような場合、日本人がそのような婉曲的な言い方をする理由や、学習者の国と異なる事情の背景に何があるのかなどを考えさせる問いかけをしたりして、日本人の価値観や考え方に気づきを促すようにします。

もしインタビューを2回以上行うことができるなら、次のインタビュー相手に合わせて質問を調整したり、1回目のインタビュー結果を踏まえて質問の繰り返しを行ったりします。相手の世代、立場や職業、出身地域などが変われば、より多様な価値観や日本語のバリエーションに触れることができるでしょう。

3. グループ発表

最後にインタビュー活動のまとめとして、テーマに関するプレゼンテーションをグループごとに行います。発表の際には、スライドなどを見せながら、インタビュー調査の概要・結果の説明、調査を通してわかったことや考えたことなどを話します。

参考資料

国際交流基金関西国際センターで実際に研修で使っているインタビュー活動に関する教材を、以下のサイトと教材で紹介しています。
「KCクリップ」 <http://jfk.jp/clip/>

国際交流基金関西国際センター（2008）『日本語ドキドキ体験活動集』（凡人社）

このコーナーの担当者：亀井 元子（関西国際センター日本語教育専門員）

読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗例などぜひお寄せください。

は が ほど くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

「受身文」
うけみぶん

「文法をやさしく」(現在「文法を楽しく!!」)の「受け身(1)」「受け身(2)」には受身文についての詳しい説明があります。今回はそれらの説明を踏まえたうえで、学習者の皆さんから出た、受身の二つの質問についてお答えしたいと思います。

その前に受身の復習を兼ねて、問題です。次の問題について考えてください。友達と話し合ってみるとおもしろいかも知れません。

- 問題1:「ほめられサロン」という、インターネット上のバーチャルな店があるそうです。どんな店だと思いますか。
- 問題2:「いじめ問題」がなくなりますが、あなたはじめっ子といじめられっ子のどちらに問題があると思いますか。
- 問題3: ほめられて育った子と、叱られて育った子では、大人になってどんな違いが出ると思いますか。



問題に対しては、こちらからは特に答えは出しません。話し合ったり自分で調べたりして、考えてみてください。では、質問に入ります。

【学習者からの質問1】

「私は足を踏まれた」という文は、「私は足が踏まれた」という言い方にしても通じますか。また、「何かとられましたか」という文では、「何か」の後ろに省略されているのは「が」か「を」のどちらですか。

【学習者からの質問2】

「泥棒にかばんが盗られました」はおかしい文だと思いますが、例えば次の会話で「かばんが盗られた」は、私には正しく感じられるんですか…。

<交番で>

- 私: かばんが盗られたんです。
- 警官: 誰にですか。
- 私: 知らない泥棒にです。

学習者の質問1と2は、同じことが問題になっています。受身文にはいくつかの種類があって、その一つに、主語(多くの場合「私」)の所有物・体の一部などに影響(多くの場合、被害・迷惑ですが、次の(3)のようにそうでない時もあります)が及んだ時に用いる受身文(以降、「所有受身文」と呼ぶ)があります。基本的には、「主語が/は 誰かに

所有物・体の一部を V (ら) れる」の形をとります。

- (1) 私は子供にカメラをこわされた。
- (2) 私は電車の中で(隣の人に)足を踏まれた。
- (3) 先生に作文をほめられた。

所有受身文「(主語が/は) NをV(ら)れる」の「Nを」は、「Nが」にはなりません。

- (1)'? 私は子供にカメラがこわされた。
- (2)'? 私は電車の中で(隣の人に)足が踏まれた。
- (3)'? 先生に作文がほめられた。

「Nが」が用いられない理由は、「所有受身文の中心はあくまでも主語(多くは「私」)で、その主語が自分の状況・状態を訴えようとしている時に、新たに出来事や情報を伝える「Nが」が現れるのはそぐわない」ためと考えられます。

「が」は、出来事が起こった時や何か変化があった時などに、それを「発見」して、伝える働きがあります。次のような場合は、すべて「が」になります。(参照: 文法を楽しく「は」と「が」(1) 2006/01)

- (4) あ、バスが来た。
- (5) あそこに子猫がいる。
- (6) 地震だ。地震が起きた。
- (7) <財布を開けて>あ、お金がない。

ですから、質問2<交番で>のような会話は間違いではありません。ここでは「かばんを盗られた」ことが出来事として、新しい情報として伝えられています。このような場合は「かばんが盗られた」も、単独文として適切になります。

インターネットで、どのような文脈で「NがV(ら)れる」が使われているか探ってみました。検索して出てきた例文の中で「足が踏まれる」が比較的多かったので、「足が踏まれる」で考えます。

- (8) 満員電車のなかで、自分の足が踏まれた。彼はその時足を踏まれながら、一中路一じっと耐えていたというのです。
- (9) エスカレーターに乗った時に、足が踏まれたことに気づいた。頭を横にしてよく見たら、ある坊やが私の足を踏んでいた。



(10) うかつあやまり：たとえば相手に自分の足が踏まれた時に、「すみません、こちらがうかつでした」と自分が謝ることで、その場の雰囲気をよく保つこと。

(8)は言い切りの形で、(9)は名詞節「～こと」の中で、(10)はトキ節「～時に」の中で使われています。(8)～(10)に共通しているのは、主語は省略されていて「足が踏まれた」ということだけを述べていることです。主語になる人ではなく、むしろ、「足が踏まれた」ことに視点が置かれ、それに対してどうしたか、どう思ったか、どうするかということが中心になっています。

いくつかの例を見て結論として言えるのは、「NがV(ら)れる」は受けた影響について、それを一つの出来事として伝えたり述べたりする時に、単独で使うことができるということです。

では次の質問に移ります。次の質問は自動詞の受身に関するものです。

【学習者からの質問3】

「私の子供が泣いた」を受身にすると、「私は子供に泣かれた」になるが、私には「子供に泣かれて、困った」より「子供が泣いて、困った」のほうが分かりやすいような気がします。

【学習者からの質問4】

自動詞の受身は話し言葉にはあまり使われないのではないのでしょうか。「訪問販売員に來られて困った」と「訪問販売員が來て困った」では、迷惑の程度はどちらが強いですか

日本語教育に当たる先生方の中には、自動詞受身こそ被害・迷惑を表す典型的な、日本的な受身なのだから、教えたほうがいいという考え方と、「訪問員に來られて困った」「子供に泣かれてしまった」などと言わなくても、「訪問員が來て困った」「子供が泣いてしまった」と言っても同じなので、教える必要はないという考え方があります。

先日テレビを見ていたら、原発の被害を受けた福島県のある小さい町の町内会の会長さんが次のようなことを、本当に困ったという感じで言っていました。

会長：町内会をちゃんと立て直したいのだけれど、たくさんの人に引っ越されてしまって…。

ここでは、「たくさんの人が引っ越してしまって」と言ってもいいのですが、「引っ越されてしまって」と言うことで、そして、それを他の人が聞くことで、ああ、会長さんは本当に困っているのだということがよく分かりました。

インターネットで「泣かれる」「死なれる」の使用状況を見てみると、多くの例がありました。その一部を紹介합니다。

- (11) 仕事を辞めてほしいと子供に泣かれました…迷っています…。
- (12) 彼女に「化粧変えたね、どうしたの？」と聞いたら泣かれた。間違った事は言っていないと思うのだが。
- (13) 私さ、銀さんに先に死なれちゃ困るよ。
- (14) 高齢者の“病院死”が普通になると、私たちは身内の死を目の前で見ることがなくなりました。家族は、「ここで死なれたら面倒臭い」「怖い」と、自宅を死に場所として認めなくなりました。

(11)(12)は「泣かれる」、(13)(14)は「死なれる」の例です。(11)は母親の気持ち、(12)は彼女のある男性の気持ちを表しています。いずれも主語は「私」((11)では、私が「泣かれた・迷っている」、(12)では、私が「聞いた・泣かれた」)で、私の気持ちが一貫して表されています。「子供が泣いた」「彼女が泣いた」でも間違いではありませんが、1文や文の集まりである文章を通して主語が一貫されていると、理解しやすいし、情感が伝わります。

(13)も「困る」のは「私」であり、主語の一貫性として「(私が)死なれちゃ」となっています。(14)は、やはり家族の面倒臭い、怖いという気持ちの原因が、「(家族が、高齢者に)死なれたら」と自動詞受身で表されています。

このような文を見ていて、私は、日本語に自動詞受身がある以上、やはり教えるべきだと考えています。教え方に工夫をして、あまり口頭練習をしなくても、理解表現としてなぜそういう表現があるかを日本の文化の一つとして説明してほしいと思っています。

どのレベルの学習者から自動詞受身のニュアンスの違いが分かることが必要なのか、また、ニュアンスの違いを分かってもらう(使い方が分かる)ためには、文脈がはっきりした、自然な文章の中で出す必要があるということも、今後、指導する側が考えなければならない問題だと思えます。

参考文献

菊地康人・増田真理子(2009)「初級文法教育の現状と課題」『日本語学』9月号 明治書院 pp.64-74

※(8)～(14)は下記のURLより抜粋しました(2014年7月現在)

- (8) <http://www.t3.rim.or.jp/~kyamada1/gara15.html>
- (9) <http://lang-8.com/68338/journals/212728>
- (10) <http://choyon.exblog.jp/page/4/>
- (11) http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11121305101
- (12) <http://kijosoku.com/archives/38359297.html>
- (13) <http://kantei.am/174039/query.htm>
- (14) <http://astand.asahi.com/webshinsho/asahipub/weeklyasahi/product/2012122700006.html>

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。



は が ほど くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

授受表現 (1)

じゆ じゆ ひょう げん

今回と次回は「(て) あげる / (て) もらう / (て) くれる」を中心にした授受表現(やりもらい表現)について取り上げます。「文法をやさしく」の「やりもらい(1)」「やりもらい(2)」(2002年9月・2003年1月)には詳しい説明があります。それらの説明を踏まえたうえで、「授受表現」の少し応用的な面を考えます。

【問題】が少し難しいかもしれませんが、挑戦してみてください。

1. 「(て) あげる vs (て) くれる」

まず、「(て) あげる」と「(て) くれる」の使い分けについて考えましょう。「(て) あげる」と「(て) くれる」の基本の構造は、皆さんもご存じのように、次のようになります。

- 私(話し手)・他の人が / は 他人に ~を~ (て) あげる
- 他人が / は 私(話し手)・家族など(ウチのメンバー)に ~を~ (て) くれる

(ウチのメンバー: 話し手のグループの者、具体的には家族や会社のメンバーなど)

aとbの例を挙げます。

- 林さんはミランダさんに漢字の読み方を教えてあげた。
- 森さんが私にマレーシアの歌を教えてくださいました。

ここでのポイントは、他人が「私」や「私の家族」などに何かをしてくれた時は、「(て) あげる」ではなくて「(て) くれる」を使うことです。

では、このことを頭に置いて、次の問題を考えてください。

() 内のどちらが適切でしょうか。

【問題1】

- (1) 混雑した電車の中で偶然高校時代の友人に会った。少し熱があるとのことでつらそうだった。しかし、誰も気がつかず、席を譲って(あげなかった/くれなかった)。*1

いかがですか。友人を「他人」ととらえて、「他人(乗客)が他人(友人)に席を譲る」と考えると、「(譲って)あげなかった」になりますね。でも、「(譲って)くれなかった」とも言いそうですね。

(1)で問題になることは、「友人」は「ウチのメンバー」に入るのか否かということです。友人が「ウチのメンバー」に入るなら、「乗客が友人に席を譲ってくれなかった」も適切になるからです。少し考えてみましょう。

「友人」にも段階があって、(1)のような「偶然会った高校時代の友人」から、とても大切にしている「親友」までありますね。親友なら「(て) くれる」が使えるのでしょうか。

- (1) 混雑した電車の中で偶然親友に会った。少し熱があるとのことでつらそうだった。しかし、誰も気がつかず、席を譲ってくれなかった。



微妙なところですね。では、「友人」より親しい(はずの)元カレ(元カノ)はどうでしょうか。

- (1) 混雑した電車の中で偶然元カレ(元カノ)に会った。少し熱があるとのことでつらそうだった。しかし、誰も気がつかず、席を譲ってくれなかった。*1

これも微妙なところですね。

たぶん皆さんも気づき始めているように、「(て) あげる / (て) くれる」の使い分けは、「ウチのメンバー」か否かではなく、話し手が「相手の問題を、どの程度自分の問題としてとらえているか」ということに関わっています。話し手が、熱のある友人や元カレ・元カノのことを自分のことのように心配していると、「(て) くれる」が使えることになります。

以上のことをまとめると、問題1のポイントは次のようになります。

「(て) あげる」と「(て) くれる」のどちらを使うかは、話し手の心情に関わる部分が多い。

では、問題2へ行きます。問題2も「(て) あげる」と「(て) くれる」についてです。

【問題2】

- (2) その仕事は大川さんならやれる。大川さんに頼めばきっとやって(あげる/くれる)だろう。*2

授受表現で大切なことは、「誰が、誰のためにするのか」ということです。(2)は省略があるので、分かりやすくするために会話の形にしてみましょう。

(2) ヨン：この仕事、誰に頼めばいいでしょう…。

野田：うーん。難しい仕事だけど…、大川さんに頼んだらどう？

ヨン：大川さんですか。

野田：そう、大川さんなら、きっとやって(あげる／くれる)だろう。

問題の答えは(2)も(2)'も「(て) くれる」です。しかし、授業でこの問題を取り上げた時、学習者から「(て) あげる」ではないかという質問が出ました。理由は、「他の人(大川さん)が他の人(ヨンさん)のためにするのだから」というものです。

ここで野田さんが「(て) くれる」を選ぶ心情について考えてみましょう。

「ヨンさんから相談を受けた。ヨンは仕事をしてくれる人を探しているようだ。一肌脱いであげたい*4。そうだ、大川さんを紹介しよう。」

このように野田さんは、ヨンさんからの相談を自分のことのようにとらえ、大川さんがヨンさんのために「(やって) くれる」と言ったと考えられます。

また、ヨンは野田さんの話し相手なので、「話し相手=あなた」ととらえることもできます。「あなた」は多くの場合、「ウチのメンバー」と同等と考えられるので、「(て) くれる」を用いると考えてもいいでしょう。(例：林さんがあなたにCDを貸してくれた。／森さんがあなたを水族館へ連れて行ってくれると言ったよ。)

問題2のポイントは次のようになります。

話し相手の「あなた」は多くの場合、「ウチのメンバー」に入る。

では、次に進みます。問題3を見てください。

【問題3】

(3) 市民文化祭は大成功だった。隣の市の人たちも手伝って(あげた／くれた)。*3



(3)の答えは「(て) くれた」です。しかし、また学習者から、隣の市の人たちが別の市の人たちを手伝ってあげたのだから、「(て) あげた」ではないかという意見が出ました。ここでは話し手(私)がどの市の人間か、そして文化祭とどう関わっているのが重要ですが、学習者には文面からそれが分からなかったようです。

もし、話し手と直接関係のない市について話しているのであれば、通常は文頭に、「〇〇市の市民文化祭は」と、市の名前を入れるはずですが、名前も入れずに「市民文化祭は」で始まっているのは、それが話し手にごく近い市の文化祭だということを示しています。

また、関係のない市であれば、「〇〇市の市民文化祭は大成功だったようだ／そうだ／らしい。」のように、推量、または、伝聞の表現を加えるのが普通です。また、そのあとの「隣の市の人たちも手伝って「あげた／くれた」も、文末に「ようだ／そうだ／らしい」が付くほうが自然です。推量・伝聞表現がなく言い切りの形をとっているのは、話し手が文化祭を行った市の市民であるためです。

このように、発話を聞いた時、話し手自身に関わる事柄を言っているのか、他の人のことを言っているのかは、見きわめが重要です。そして、それは文の中にヒントがあることが多いです。

では、文化祭を行った市の人と話しているとして、(3)は「(て) あげた／(て) くれた」のどちらが正しいでしょうか。

答えは「(て) くれた」ですね。隣の市の人たちが自分たちの市の文化祭を手伝ったのだから、「手伝ってくれた」となります。

問題3のポイントは次のようになります。

文や文章の流れ(文脈)から状況を考えることが重要。

今回は授受表現で、「(て) あげる」と「(て) くれる」の使い分けについて考えました。「(て) あげる」と「(て) くれる」の使い分けの基本は、最初の a, b に示した通りですが、それに加えて、次のことも考える必要があることが分かりました。

「(て) あげる」と「(て) くれる」のどちらを使うかは、

- ・話し手の心情に関わる部分が多い。
- ・話し相手の「あなた」は多くの場合、「ウチのメンバー」に入る。
- ・文や文章の流れ(文脈)から状況を考えることが重要。

注

*1-3：参考文献より引用。選択肢を一部変更した。

*4：「一肌脱ぐ」は、その人のために、本気になって手助けするの意味。

参考文献

友松悦子・福島佐知・中村かおり(2011)『新完全マスター文法日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。



本ばこ

ほん

—新刊教材・図書紹介—

しん かん きょうざい と しょしょうかい

聞いて、まねして、日本語のリズムを身につける音読教材

『まねして上達！にほんご音読トレーニング』

著者：松浦真理子、福池秋水、河野麻衣子、吉田佳世

出版社：アスク出版 (http://www.ask-books.com/)

発行年月：2014年03月 ISBN：978-4-87217-888-3

判型・頁数：A5判 176頁、CD2枚付 定価：1,944円(税込み)



“文法や語彙の力はあるのに声に出して話すのは苦手”“長い文になると口がうまく動かさずスムーズに話せない”そんな日本語学習者におすすめしたい1冊です。本書は口を動かして声に出しながら文を読む中で、日本語のリズムや相手に聞きやすい話し方を身につけていくことを目的に作られた音読教材です。初級後半の学習者から使うことができます。

▽本書の構成

口慣らしのためのウォーミングアップから始まり、全部で30ある音読練習用の本文（音読Unit）へと続いています。その間には、日本語のリズムを楽しむ練習として早口ことばやことわざに挑戦するページ、日本の文学作品も紹介されています。

音読Unitの内容には大きく2つの種類があります。一つは、「人に向けて話す」もので、簡単な自己紹介や留守番電話といった日常的な場面から、スピーチ、プレゼンテーションやインタビューといったアカデミックな場面まで、さまざまなトピックがあります。もう一つは、「文章を読む」もので、日本の文化や行事、自然、歴史などについてのエッセイがあります。

このような様々なトピックの文章を、次の5つのステップに沿って練習していきます。

STEP1： 音声を聞いて、どんな内容か考える
STEP2： 意味を確認して、本文を見ながらもう一度聞く
STEP3： 本文の音声を少しずつまねる
STEP4： 本文を見ながら音声と一緒に読む
STEP5： 本文を見ないで音声と同時に言う

▽繰り返し声に出して、リズムに慣れる

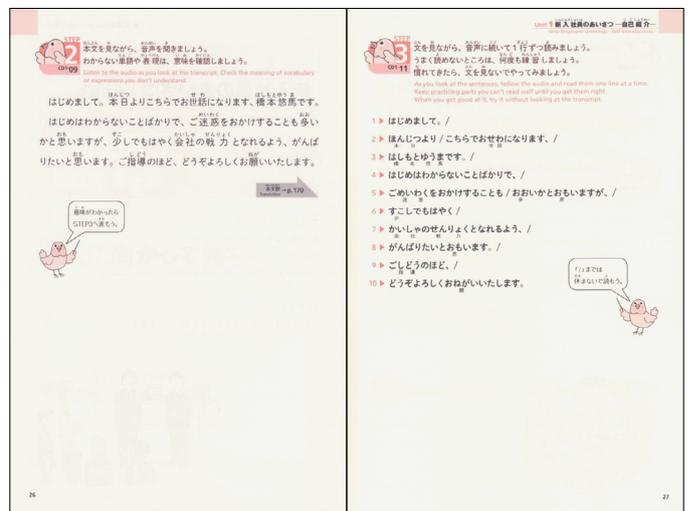
音読Unitには、「きほん」「ゆっくり」の2種類のスピードの音声と、区切って練習をするための「1行ずつ」があり、

学習者の力に合わせて音声を選ぶことができます。繰り返し音声を聞いて、声に出してまねながら、日本語のリズムに慣れていきます。

▽すきま時間を利用して、簡単に取り組める

毎回の授業の始めの10分間を使ったり、活動と活動の間の気分転換にしたりと、授業に取り入れやすい教材です。特に、海外のような日常的に日本語に触れる機会や発話する機会が少ない日本語教育現場においては、気軽に楽しく日本語のリズムに触れ、自然な話し方に慣れる機会を提供することができます。さらに、付属のCDやWebでダウンロードできる音声データや本文訳（中国語・ベトナム語・英語）を活用して、授業時間以外にも自宅や移動中に練習することも可能です。

カラオケで大好きな歌を繰り返し練習するように、好きな詩を何度も口ずさむように、楽しく日本語の音とリズムに触れる活動を取り入れてみてはいかがでしょうか。





本ばこ

ほん

一新刊教材・図書紹介一

しん かん きょうざい と しょしょうかい

論文やレポートに合った表現を使えるようになるための教材

『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』

著者：鎌田美千子、仁科浩美

出版社：スリーエーネットワーク (<http://www.3anet.co.jp/>)

発行年月：2014年3月 ISBN：978-4-88319-681-4

判型・頁数：B5判 74頁、別冊解答 15頁 定価：1,512円(税込み)



▽パラフレーズとは

本書では「パラフレーズ」を「目的や伝達手段などに応じて他の表現に言い換える（書き換える）」という意味で使っています。そして、レポート・論文・発表用スライド・レジュメなどのアカデミック・ライティングで、それぞれに必要なパラフレーズの力を養うことを目的に、さまざまな練習問題を取りあげています。

▽本書の内容と構成

アカデミック・ライティングには次のような特徴があります。

- ・話し言葉の表現を使わない
- ・箇条書きや簡潔な文が必要
- ・文献などの引用表現にルールがある

本書では、こうした特徴に合わせて適切にパラフレーズができるようになることで、アカデミック・ライティング能力の向上を目指しています。

第Ⅰ部では単語の言い換えを扱っています。例えば、和語を対応する漢語に言い換えたり、動詞を名詞化したりするパラフレーズ練習を行います。第Ⅱ部では長さのある表現を簡潔にまとめる練習を行います。どちらも次の順序で練習を行っていきます。まず単文の中の下線部を直す練習、次に例文の中の不適切な箇所を見つけて直す練習、最後に文章や図表について、指示に合わせてパラフレーズする練習をします。最後の第Ⅲ部では、具体的な場面を想定した次の①～③の課題に取り組みます。

- ① レポートに文献を引用する。
- ② 研究テーマについて発表するためのスライドを作る。
- ③ インタビューの内容（質問と回答）をレポートに書く。

▽本書の使い方

これからレポートや論文を執筆しようとする学習者を対象にした授業で使ったり、学習者自身が自習用に使ったりして、目的・場面に応じた、単語、表現、述べ方などのパラフレーズ練習ができます。

また、本書で取り上げられているのは実際のアカデミック・ライティングの場面で直面しやすい問題の例なので、既に自分で論文を書いたり、発表用のスライドやレジュメを作ったりしている学習者が、自分の文章の改善すべき点を整理するために使うこともできるでしょう。

なお、本書では、長い文や具体的な例を扱った文を要約したり、簡潔に表現したりする練習が中心になっていますが、学習者によっては逆に、単語や短い表現で済ませた説明を、具体的にかみくだいて書く練習が必要なことがあるかもしれません。このように、アカデミック・ライティングに関する課題は、学習者によっても、また専門分野によっても違います。学習者自身が克服すべき課題を把握し、より高いアカデミック・ライティングの力を身につけていくために、本書は良いヒントをくれるはずです。

第3課 簡潔な表現

【問題】 似た内容や似た内容を文章にまとめる場合には、表現を簡潔に表したほうがよい。

例：卒業の日に途中で辞めようという大学生の問題を検討する。
→ 途中で辞めようという大学生の問題を検討する。

例：人と人の関係についての悩みは、ストレスの原因の最も代表的なものである。
→ 人と人の関係についての悩みは、ストレスの原因の最も代表的なものである。

アンケート調査で得た自由記述の回答をレポートに書く場合にも簡潔に表したほうがよい。

例：アンケート

質問 10 最近の雇用状況について、何かご意見があればお書きください。

以前に比べて良くなってきていると思うが、まだ十分ではないと思う。会社が倒産して職を失うという問題は、若い人たちのこれから先の生活にも影響する。

↓

レポート

今回の調査アンケートの自由記述の回答には、失業の問題は雇用の減少にも影響するといった指摘があった。この点について、厚生労働省の調査結果を見ると、(以下、略)

ステップ 1

【問題】 例のように下線部を一つで言い換えなさい。

例：卒業の日に途中で辞めようという大学生の問題を検討する。
→ () 大学生の問題を検討する。

1. 1ヶ月の失業、失業給付の全てを合わせた額を算出する。
→ () を算出する。
2. 1年間に発生する額は都市部に比較する。
→ () を都市部に比較する。
3. 自動車2種の販売台数は、20年前と比べて高次元に大きく減少している。
→ 自動車2種の販売台数は、20年前と比較して () 。
4. この映画は、約1000年前に制作されたものと想定されるが、作者ははっきりわかっていない。
→ この映画は、約1000年前に制作されたものと想定されるが、作者は () 。
5. 例示は、自分の子どもと二歳以上異なる年齢層の割合を都市部に示したものである。
→ 例示は、自分の子どもと () 年齢層の割合を都市部に示したものである。

ステップ 2

【問題】 レポートの文として整理したほうがよい箇所を抜き、例のように一つで言い換えなさい。

例：卒業の日に途中で辞めようという大学生の問題を検討する。
→ 途中で辞めようという大学生の問題を検討する。

1. 卒業に際しては人々の関係は、思いをしなければならぬことである。
2. 自由に使える、余った現金の利息は高次元に関する調査は、「国内観光旅行」「アイアイ」「外食」などが上から高次元。
3. 電気自動車は早く使われることに向けた事業を推進する。
4. 航空機乗客の70%以上は、機内の設備ではなく、人が読んでおいたテキストによるものである。
5. この大学では、学生の自主性を重視するものとしてとらえている。

ステップ 3

【問題】 以下は、ゼミの発表であなたが話し込んだ内容の一部である。二下線部をレポートに合う表現として簡潔に言い換えなさい。

<発表の一部>

自動車は近頃乗客を多く取り、車の売上の増大を十分に果たし、急に増加した乗客運送に十分なスピードを確保して運転すること。このことについては、先述のとおりである。

一方、自動車業界が目ざすのは、先進技術を使って安全運転を支援するシステムの開発が行われています。このシステムが導入されている自動車は「先進安全自動車」と呼ばれています。次に、この「先進安全自動車」に搭載されているさまざまな技術について説明します。(以下、略)

<レポート>

自動車の近頃乗客を多く取り、車の売上の増大を十分に果たし、急に増加した乗客運送に十分なスピードを確保して運転することについては、前述のとおりである。

一方、自動車業界が目ざすのは、先進技術によって安全運転を支援するシステムの開発が行われています。このシステムが導入されている自動車は「先進安全自動車」と呼ばれています。次に、この「先進安全自動車」に搭載されているさまざまな技術について説明する。(以下、略)



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

JF 日本語教育スタンダード準拠の日本語コースブック

『まるごと日本のことばと文化 初級1 A2』 <かつどう> <りかい>

編著者：独立行政法人国際交流基金 来嶋洋美、柴原智代、八田直美、今井寿枝、木谷直之
 出版社：三修社 (http://www.sanshusha.co.jp/)

発行年月：<かつどう><りかい> 2014年6月

ISBN：<かつどう> 978-4-384-05754-6 C0081、<りかい> 978-4-384-05755-3 C0081

判型・頁数・定価：<かつどう> A4判 184頁 1,944円(税込)、<りかい> A4判 204頁 2,052円(税込)



本書は「相互理解のための日本語」をコンセプトに開発された『まるごと日本のことばと文化 入門 A1』（2013年10月刊行）に続くシリーズ教材です。JF日本語教育スタンダードのA2とは、あまり複雑でない日本語で日常的なコミュニケーションができるレベルです。

▽さまざまなトピック

本書は入門A1と同様、成人学習者が日本語と日本文化を楽しく学べる内容になっています。例えば、トピック「きせつと天気」「私の町」では、日本の四季の変化や東京の観光スポットが写真やイラストとともに紹介されています。また「私とぞく」「外国語と外国文化」「そとで食べる」では、様々な国の言語や文化が関係し合う日常生活を背景にした会話を学びます。「出張」「けんこう」なども成人学習者や社会人の関心をよぶところでしよう。

<かつどう><りかい>のトピック（両編共通）は次の通りです。

1 私とぞく	4 出かける	7 出張
2 きせつと天気	5 外国語と外国文化	8 けんこう
3 私の町	6 そとで食べる	9 お祝い

▽<かつどう><りかい>の使い分け

<かつどう>は日本語を聞き話すという技能中心の本、<りかい>は文型・文法等の言語項目の学習が中心になっています。両編はトピックと場面が共通なので、学習ニーズや学習環境によって単独使用も併用も可能です。入門A1からの継続学習者のほかに、<かつどう>は、話すことが苦手な既習者が会話力をつけるために利用することもできるでしょう。<りかい>は文型・文法練習をトピック・場面で文脈化し、音声も利用する新しい方法をとります。日本語の文法・文型が苦手な学習者が復習に使ってみることもできそうです。

▽「生活と文化」で話題の豊富な授業に

<かつどう>の各トピックの最後には、トピックに関係のある日本事情や文化の話題を取り上げた「生活と文化」があります。例えばトピック「そとで食べる」では、色々な場面で日本人が食べるお弁当について

紹介しています。このページを使って、自分の国のお弁当の習慣などについて話したり、日本の「キャラ弁」について取り上げておもしろいかもかもしれません。

▽目的にあわせて使える音声教材

本書には<かつどう>と<りかい>両編合わせて520もの音声ファイルがあります。また、音声ファイルは同じスクリプトでBGM（背景音乐）のありなしが選べます。例えば、会話場面の雰囲気をつかんだりリラックスして聞きたい時はBGMあり、人物の声と表現に集中したいときやシャドーイングをするときはBGMなしというように、目的にあわせて効果的に使い分けることができます。

日本語によるコミュニケーションを身につけるための教え方/学び方のポイントとして、音声の扱い方もいろいろ試してみてください。

*『まるごと日本のことばと文化』公式ポータルページ (<http://marugoto.org/>) から無料でダウンロードできます。音声の他、教師用リソースも提供されています。



このコーナーの担当者：来嶋 洋美 / 日本語国際センター専任講師



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

重層的「対話」

じゅうそうてき たいわ

『日本語学と通言語的研究との対話』

にほんごがく つうげんごてきげんきゅう たいわ

— テンス・アスペクト・ムード研究を通して —

げんきゅう とお

編著者：定延利之

へんちよしゃ さだのぶとしゆき

出版社：くろしお出版 (http://www.9640.jp/)

しゅつぱんしゃ

発行年月：2014年5月

はつこうねんげつ ねん がつ

ISBN：978-4874246245 C3081

判型・頁数：A5判 240頁

はんけい ページすう ほん ページ

定価：3,240円(税込み)

ていが えん ぜいこ



▽第一の「対話」

だいいち たいわ

最初に本書の構成を紹介しておきましょう。

さいしょ ほんしょ こうせい しょうかい

第1章	記述的研究と通言語的研究との対話
第2章	歴史的研究と通言語的研究との対話
第3章	方言研究と通言語的研究との対話
第4章	対照研究と通言語的研究との対話

本書の題名にもあり、全ての章に繰り返し出てくる「通言語的研究」という言葉は馴染のない言葉かもしれませんが、簡単に言えば個別言語の研究の対極にあるもので、本書では言語類型論(タイプロジ)が中心になっています。

本書の背景には「通言語的な研究文脈の中で、日本語学の成果はどのように位置づけられるのか?」、逆に日本語学が「通言語的な研究に有益な成果を提供していくには、どうすればよいのか?」(序i)という問題意識があり、とりわけ研究蓄積のあるテンス・アスペクト・ムードに焦点が当てられています。そうした問題意識に沿って、本書では四人の研究者がそれぞれの専門分野の立場から、通言語的研究との「対話」を試みています。

▽第二の「対話」

だいに たいわ

この本にはもう一つの「対話」があります。各章が全て論文、それに対するコメントの対話、そのコメントに対する執筆者の答え、そして最後にその答えに対するコメントの再コメント、という二往復におよぶ対話形式になっているのです。

コメントは言語類型論の研究者で、ロシア人です。専門分野も国籍も違う二人の研究者の「対話」の中でさまざまなことが話題に上ります。例えば第3章では、山形方言のケ(東京方言の文末の「〜ッケ」「太郎の結婚式はいつでしたッケ?」に当たる)に関する論考が土台となって対話が始まり、論文中の用語の問題から方言研

究と通言語的研究の関連に至るまでの幅広い「対話」が繰り返されます。そしてこの「対話」の中で、問題の在り処、研究方法上の接点、さらには研究状況や方向性などさまざまな事柄が浮き彫りになっていくのです。

▽時空を超えたさまざまな言語へ

じくう ちよ げんご

第一の「対話」を理解するためには、それぞれの分野に関する専門的な知識がある程度必要になってくるでしょう。しかし、第二の「対話」へ進むとポイントがどこにあるのかが分かったり、思わぬところで理解のための鍵が隠されていたりもします。また、自分の持っている知識や問題意識、さらに自分の母語に関する知識や感覚を重ね合わせて読み進んでいけば、読者自身もこの「対話」に加わることができるのです。

とかく私達日本語教師は、現在使われている標準的な日本語に囚われがちです。時には古代の日本語や方言、あるいは韓国語や中国語、さらには世界のいろいろな言語に目を向けることも必要なのではないでしょうか。それによって日本語が今までとは違った表情を見せてくれるはずですよ。

目次	目次
序 定延利之 1 序 アンドレイ・マルチュコフ vii	第3章 方言研究と通言語的研究との対話
第1章 記述的研究と通言語的研究との対話	方言研究と通言語的研究 洪啓善 97
「発見」と「ミラティブ」の間 — なぜ通言語的研究と交わるのか — 定延利之 3	洪啓善へのコメント アンドレイ・マルチュコフ 147
定延論文へのコメント アンドレイ・マルチュコフ 39	マルチュコフ氏への返答 洪啓善 153
マルチュコフ氏への返答 定延利之 43	再コメント アンドレイ・マルチュコフ 161
再コメント アンドレイ・マルチュコフ 51	第4章 対照研究と通言語的研究との対話
第2章 歴史的研究と通言語的研究との対話	対照研究と通言語的研究 井上慶 165
古代日本語研究と通言語的研究 小柳智一 55	井上論文へのコメント アンドレイ・マルチュコフ 207
小柳論文へのコメント アンドレイ・マルチュコフ 63	マルチュコフ氏への返答 井上慶 211
マルチュコフ氏への返答 小柳智一 67	再コメント アンドレイ・マルチュコフ 215
再コメント アンドレイ・マルチュコフ 91	索引 219
	編集者紹介 224